

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1 参加者 大川 単独

2 山城・ルート 北アルプス穂高連峰 上高地～奥又白池～前穂5・6のコル～涸沢～上高地
ワカト

3 交通手段 電車 車 バス

4 行動記録

入山日 2014年7月19日 下山日 2014年7月20日

7/19 5:30 大津発→9:30 平湯温泉あかんだな駐車場→10:30 上高地

7/19 10:30 上高地出発→徳沢→12:00 新村橋→中畠新道分岐→15:00 奥又白池 (テ泊)

7/20 3:00 起床→4:30 奥又白池出発 →8:00 5・6のコル→8:40 涸沢→徳沢→12:40 上高地
→あかんだな駐車場 入浴後 帰神

5 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a 山行は予定の内容・日程で行動出来たか

7月20日予定より早く5・6のコルに到着したため、予定を1日早め20日中に下山した。

b 事故に繋がりそうな要因 (ヒヤリハット) が発生したか 発生した場合は具体的に記す

・特になし。

c 山行の問題点、今回の教訓

・7月19日は断続的に雨が降り、レインコート (ズボン) の防水のメンテナンスが不十分であり、ズボンとタイツが濡れ、靴の中が濡れてしまいました。靴下が絞れる程濡れたため、靴下を変えたが、翌日靴ずれを起こしてしまった。

・今年は雪が多かったことと、7月20日前後で、夏山としては時期が早やかかったこともあり、雪渓がかなりのこり、5・6のコルまでは本来のルートではなく、一部雪渓を登った。アゼソ (6本爪) とピッケルを持参してよかった

(天候)

・7月19日 断続的に雨。時々雷雨。風は弱かった。

・7月20日 曇り、午後から時々雨。

(感想)

・奥又白周辺は、以前に大きな道迷いをしたため、再度挑戦した。このあたりの地形は尾根と沢が複雑に絡み合っている。今回の山行で前穂東壁の概念が分かって良かった。

・剣尾根のトレーニングとして取組み、岩と雪の山に慣れて良かった。

・単独行は全て自分で判断する必要がある、貴重な経験となる。

*奥又白池 (まだ凍っていました。) から見た、前穂東壁の全景と、北尾根6、5、4峰の写真送ります。

報告者氏名 大川 肇

平成26年7月21日